

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

食・農体験型研修施設整備計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

帯広市

3 地域再生計画の区域

帯広市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

帯広市郊外の八千代公共育成牧場内に所在する「帯広市畜産物加工研修センター」は、ソーセージやアイスクリームなどの加工体験の機会を提供し、小中学生や親子グループ、観光客などの体験研修を受け入れているほか、畜産物の製品を開発・製造し、道内を中心に販売を行っている。しかし、同センターは、施設面の制約から、加工体験を1日1回しか受入れできないほか、多様化・高度化する消費者のニーズに即した製品開発が進まない状況や通常製品の製造能力に限界がある。

4-2 地方創生として目指す将来像

北海道十勝管内は、雄大な自然環境やパッチワーク状に広がる農村景観、基幹産業である農業から生産されるおいしい「食」など、恵まれた地域資源を活かした観光振興に取り組んでいるが、宿泊客延べ数は横ばいで通過型観光の状況が続いている。

こうした状況を踏まえ、十勝を目的地とした観光客の増加や観光消費の拡大、関連産業の振興をはかるため、豊かな自然空間をフィールドとしたアウトドア活動を柱に、DMOによる観光戦略の立案・推進のほか、拠点施設整備による移動の円滑化や総合的な情報発信、各種アクティビティのパッケージ化などに取り組む。これにより、広大な圏域に点在する観光資源や関連産業などの相乗効果を生み出し、「ゆとり」と「癒やし」にあふれたプレミアムな時間を満喫できるエリアとしての観光ブランド化をめざす。

【数値目標】

| | 事業開始前 (現時点) | 平成29年度 増加分 (1年目) | 平成30年度 増加分 (2年目) | 平成31年度 増加分 (3年目) |
|-------------------------------------|----------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 十勝のアウトドア観光消費額(単位:千円) | 700,037 | 21,631 | 22,280 | 22,948 |
| 帯広市畜産物加工研修センターの畜産物加工品等の売上増加額(単位:千円) | 28,756 | 0 | 1,438 | 1,510 |
| 帯広市畜産物加工研修センターの研修受入参加料の増加額(単位:千円) | 2,643 | 0 | 264 | 145 |

| | 平成32年度 増加分 (4年目) | 平成33年度 増加分 (5年目) | KPI増加分の 累計 |
|-------------------------------------|------------------------|------------------------|---------------|
| 十勝のアウトドア観光消費額(単位:千円) | 23,637 | 24,346 | 114,842 |
| 帯広市畜産物加工研修センターの畜産物加工品等の売上増加額(単位:千円) | 1,585 | 1,664 | 6,197 |
| 帯広市畜産物加工研修センターの研修受入参加料の増加額(単位:千円) | 153 | 160 | 722 |

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

帯広市八千代公共育成牧場内の「帯広市畜産物加工研修センター」は、ソーセージ等の加工体験機能と肉製品製造機能を有し、市内の児童生徒や道内観光客などの研修を受け入れるとともに、「八千代牧場ハム・ソーセージ」ブランドで道内を中心に肉製品を販売してきた。また、本施設の近隣にはアウトドア観光の拠点施設の一つとして整備を進める「ポロシリ自然公園キャンプ場」が所在し、地方創生推進交付金を活用した「十勝アウ

トドアDMO事業」により、国内外からアウトドア観光客を誘致することとしている。

この2つの施設を有機的に連携させ、「帯広市畜産物加工研修センター」で加工体験により作った製品をキャンプ場で調理して食べられる貴重な体験機会の提供やグランピング等に対応可能で良質な肉製品の販売、キャンプ場へのケータリング販売サービス、観光客帰宅後の「お取り寄せ」通販など「八千代牧場ハム・ソーセージ」のファンづくりに取り組み、DMOによるアウトドア観光の魅力向上と同時に、研修の受入増加と製品の販路拡大、リピーター化などが期待できる。また、十勝が「食と農の景勝地」（農水省）に認定されていることから、八千代牧場の「景観」と「ハム・ソーセージ」の魅力発信により、体験研修受入増加と加工製品販売拡大に期待ができる。

このことから、「帯広市畜産物加工研修センター」の施設整備により研修受入能力と製品開発能力を拡充し、DMO等と連携した事業展開をはかることで、アウトドアを柱とした新たな「ひと」の流れの創出と観光消費の拡大などをめざす。

【実施収益事業】

- 帯広市畜産物加工研修センター
 - ・畜産物加工品等の販売
 - ・体験研修（肉・乳製品加工）受入

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体：帯広市

② 事業の名称：食・農体験型研修施設整備事業

③ 事業の内容：

本事業は、「帯広市畜産物加工研修センター」の加工体験研修の受入拡大と安全安心な製品製造との両立に必要な衛生管理水準の向上や、高品質・高効率な製品開発・製造のため、包装室、食肉加工室、熱処理室、冷蔵室などの諸室を改修し、効果促進事業として体験研修の回転率向上や高度な製品開発・製造に資する関連設備を導入する。

これらの施設整備を行うことにより、研修受入能力と製品開発及び製造能力を拡充し、「十勝アウトドアDMO事業」の拠点施設である「ポロ

シリ自然公園キャンプ場」と、サイクルツーリズムやファームツーリズム等を通じた連動により、アウトドア観光客への加工体験機会の提供やグランピング等に対応可能で良質な肉製品販売、キャンプ場へのケータリング販売サービス等に取り組み、また、「食と農の景勝地」認定による畑のガイドや農業体験ツアーなどに加工体験研修を組入れるなど、十勝の景観と食、農を満喫する時間を提供し、アウトドアを柱とした新たな「ひと」の流れの創出と観光消費の拡大などをめざすものである。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

本施設は、指定管理者制度を活用して運営する帯広市の公共施設であり、国の交付金によらず自立的な運営が可能である。さらに、本事業を通し、体験研修の受入れ増加や製品製造・販売の拡大がはかられ、収益の改善につながると見込まれる。

売上額(5ヵ年増加額) 6,919千円

【官民協働】

本事業は、帯広市と指定管理者が協働して行う事業であるほか、「帯広市畜産物加工研修センター」と「ポロシリ自然公園キャンプ場」の連携強化に向け、平成29年4月に設立された「株式会社 ディスティネーション十勝」と協力して実施するものである。また、「食と農の景勝地」認定に伴い、八千代牧場の景観とハム・ソーセージの魅力発信事業を展開する。

- 「株式会社 ディスティネーション十勝」は、サイクルツーリズムやファームツーリズム等において「帯広市畜産物加工研修センター」をコースの一つに組み入れ、ソーセージ等加工体験と製品販売の増加につながる「ひと」の流れを創出
- 帯広市と指定管理者は、ソーセージ等加工体験受入回数の拡大、新製品開発、キャンプ場へのケータリング販売サービス、観光客帰宅後の「お取り寄せ」通販など、顧客満足度の向上と製品販売、「八千代牧場ハム・ソーセージ」のファンづくりを創出
- 食と農の景勝地・十勝協議会は、畑のガイドツアーや農業体験ツアーなどの「食と農の景勝地」認定を活用した事業を取り組む中で、「帯広市畜産物加工研修センター」のソーセージ等の加工体験研修を組み入れ、体験研修の増加と「八千代牧場ハム・ソーセージ」の販売促進に向けた十勝のファンづくりを創出

【政策間連携】

本事業により、「帯広市畜産物加工研修センター」の観光利用や製品の消費拡大のほか、DMOによるアウトドア観光の魅力向上や観光客増加などの相乗効果が見込まれる。また、「八千代牧場ハム・ソーセージ」のブランド化や十勝農業への理解促進のほか、管内で推進中の「食と農の景勝地」の展開にも資するものと期待される。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

| | 事業開始前 (現時点) | 平成29年度 増加分 (1年目) | 平成30年度 増加分 (2年目) | 平成31年度 増加分 (3年目) |
|-------------------------------------|----------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 十勝のアウトドア観光消費額(単位:千円) | 700,037 | 21,631 | 22,280 | 22,948 |
| 帯広市畜産物加工研修センターの畜産物加工品等の売上増加額(単位:千円) | 28,756 | 0 | 1,438 | 1,510 |
| 帯広市畜産物加工研修センターの研修受入参加料の増加額(単位:千円) | 2,643 | 0 | 264 | 145 |

| | 平成32年度 増加分 (4年目) | 平成33年度 増加分 (5年目) | KPI増加分の 累計 |
|-------------------------------------|------------------------|------------------------|---------------|
| 十勝のアウトドア観光消費額(単位:千円) | 23,637 | 24,346 | 114,842 |
| 帯広市畜産物加工研修センターの畜産物加工品等の売上増加額(単位:千円) | 1,585 | 1,664 | 6,197 |
| 帯広市畜産物加工研修センターの研修受入参加料の増加額(単位:千円) | 153 | 160 | 722 |

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

産学官金労言と地域住民により構成した外部組織において、翌年6月に推進状況や目標達成状況について報告し、検証・改善のための議論を行う。

【外部組織の参画者】

帯広市総合戦略推進会議

産：市内企業、J A、学：帯広畜産大学、官：十勝総合振興局、金：帯広信用金庫、北洋銀行、労：帯広地区連合会、言：北海道新聞社、十勝毎日新聞社、住民：町内会連合会、P T A連合会、帯広市婦人団体連絡協議会

⑦ 交付対象事業に要する経費

①第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 74,025千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成34年3月31日（5ヵ年度）

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) DMOの地方創生推進交付金を利用した事業

事業概要:十勝全体の観光動向や顧客ニーズを把握するための調査を行い、それに基づいた戦略策定を行う。また、十勝の魅力ある素材を内外へアピールするためのプロモーションを実施するとともに、グランピング等のアウトドア事業を展開する。

実施主体：株式会社 ディスティネーション十勝

事業期間：平成29年度～平成32年度

(2) 食と農の景勝地・十勝協議会の事業

事業概要：十勝らしい畑のガイドツアー等のファームツーリズムやサイクルツーリズム等の事業に加工体験研修を組入れるなど、十勝の景観と食、農を満喫する時間を提供するもの。

実施主体：食と農の景勝地 十勝協議会

事業期間：平成29年度～平成33年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成34年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

産学官金労言と地域住民により構成した外部組織において、翌年6月に推進状況や目標達成状況について報告し、検証・改善のための議論を行う。

【外部組織の参画者】

帯広市総合戦略推進会議

産：市内企業、J A、学：帯広畜産大学、官：十勝総合振興局、金：帯広信用金庫、北洋銀行、労：帯広地区連合会、言：北海道新聞社、十勝毎日新聞社、住民：町内会連合会、P T A連合会、帯広市婦人団体連絡協議会

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

| | 事業開始前 (現時点) | 平成29年度 増加分 (1年目) | 平成30年度 増加分 (2年目) | 平成31年度 増加分 (3年目) |
|-------------------------------------|----------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 十勝のアウトドア観光消費額(単位:千円) | 700,037 | 21,631 | 22,280 | 22,948 |
| 帯広市畜産物加工研修センターの畜産物加工品等の売上増加額(単位:千円) | 28,756 | 0 | 1,438 | 1,510 |
| 帯広市畜産物加工研修センターの研修受入参加料の増加額(単位:千円) | 2,643 | 0 | 264 | 145 |

| | 平成32年度 増加分 (4年目) | 平成33年度 増加分 (5年目) | KPI増加分の 累計 |
|-------------------------------------|------------------------|------------------------|---------------|
| 十勝のアウトドア観光消費額(単位:千円) | 23,637 | 24,346 | 114,842 |
| 帯広市畜産物加工研修センターの畜産物加工品等の売上増加額(単位:千円) | 1,585 | 1,664 | 6,197 |
| 帯広市畜産物加工研修センターの研修受入参加料の増加額(単位:千円) | 153 | 160 | 722 |

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、帯広市のホームページにより公表を行う。